

# 中小企業者向けに大雪の影響による金融支援を実施

市では、1月21日から大雪の影響を受け、県セーフティネット資金（経営支援枠：自然災害要件）を利用する中小企業者等を対象に、金融支援を行います。

<対象>

新潟県セーフティネット資金（経営支援枠：自然災害要件）を利用する中小企業者等で次の要件を満たす事業者における1月21日(水)から3

月31日(火)までの融資実行分

- ・ 市内に事業所を有すること（個人事業主…現住所が市内でも可）
- ・ 補助金の交付を申請する時点で継続して事業を行っていること
- ・ 大雪の影響により、被害を受けていること

<支援内容>

利子補給、信用保証料の補給

\*詳しくは市産業政策課 産業振興係(電話：025-520-5729)にお問い合わせください。

## 2026年3月議会審議日程

	曜	会議	場所	備考
2月27日	金	本会議	議場	閉会中調査事件報告 議案提案、総括質疑
3月2日	月			
3月3日	火	厚生委員会	第一委員会室	付託案件の審査 (平良木議員担当)
3月4日	水			
3月5日	木	農政建設委員会	第一委員会室	付託案件の審査
3月6日	金			
3月9日	月	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件の審査 (上野議員担当)
3月10日	火			
3月11日	水	総務委員会	第一委員会室	付託案件の審査 (橋爪議員担当)
3月12日	木			
3月16日	月	一般質問	議場	各議員の質問日は、 追ってご案内 いたします。
3月17日	火			
3月18日	水			
3月19日	木			
3月24日	火	本会議	議場	議案の採決

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.896 2026年2月22日

上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))  
(事務局長) 山本信子 090-4967-0367 (仲町2(高田区))  
ホームページ <https://jcpjoetsudiet.jimdosite.com/>

私たちは、参政党に投票した人全員が、この党の排外主義とか憲法草案を「よっしゃ、やってくれ」と認めて投票したとは思っていません。むしろ知らずに投票した人の方が多いのではないかと考えています。

「なんとなく勢いがある」自民党政治を

# 死亡・重傷が多発 2021豪雪に迫る勢い

雪の事故が後を絶ちません。市内では2月13日までに死亡者が5人、重傷者が10人と、重大な結果につながった事故が多発しています。

2021年の大豪雪の時と比べると、家屋の被害は少数にとどまっていますが、人的被害は大差ないほどになっています。これは、除雪に携わる市民がこの5年の間にかなり高齢化してきたことが背景にあると考えられます。

除雪の際には安全のためにあらゆる手立てをとり、自己を過信しない(これまでできたことでも、いつまでもできるとは思わない)ことを念頭に組み立てられるようお願いいたします。

	死者	重傷	軽傷	住家全壊	非住家全壊	半壊等
今冬(～2/13)	5	10	21	1	8	7
2021年豪雪	6	21	34	1	87	423

## 16億円 除雪費に追加補正

市は2月10日、市道除排雪 億円を追加しました。  
経費に更なる不足が生じる見 当初予算が約34億円ですの  
込みとなったとして、市長専 決による補正予算を組み、16  
ということとなります。

## 排外主義とは何か どう闘うか

たつみコータロー  
衆院議員の  
講演から その8

さて、なんで参政党のような排外主義が支持を集めるようになったのでしょうか。

変えてくれる」という思いがあったのだと思います。弱肉強食の新自由主義と、それに基づくグローバリゼーション、超富裕層と大企業に巨額の富を集中しながら99%の人を貧しくして格差を拡大させてきた政治、こういう社会に対して不満を募らせている人たちが参政党を支持したのではないのでしょうか。

「自民党政治を変えてくれるのでは」というのは幻想なのですけれども。本来ならば共産党を支持していただけるような人が、参政党に入れたというケースは多いのではないのでしょうか。

私も街頭宣伝をしていて、対話した時

にびっくりしたのですが、「共産党か、れいわか、参政党かで迷っている」という人がかなりいたのです。「共産党かれいわか」は結構言われることが多いのですが、そこに参政党が入ってきたんですね。

就職氷河期世代で先が見えないとか、そういう方々が、参政党に吸い寄せられていった側面があると、私たちは見えています。これと同じようなことが、すでにもうヨーロッパで起こっています。ヨーロッパではもう10年ほど前から、移民の増大を契機に排外主義が高まってきました。同時に、それに対する抵抗、たたかいというも行われてきております。ペルギーなどでは排外主義とたたかつて、入党者を増やしている政党というのも出てきています。